

2020年3月期  
**決算説明資料**

2020年5月

**株式会社KSK**

# CONTENTS

## 1 KSKグループ概要

## 2 業績の概要

前期との比較

過去の業績推移 (売上高・営業利益)

営業利益の増減要因

セグメント別業績 (売上高・セグメント利益・構成比・従業員数)

## 3 中期経営計画「TRUST50」

TRUST50の概要

経営の基軸 (エンゲージメント・人材育成・CS向上)

健康経営

新型コロナウイルスへの対応

## 4 Appendix ～ご参考～

# 1 KSKグループ概要

## 株式会社KSK

設立	1974年5月23日
資本金	14億4,846万円
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>① システムコア事業</li> <li>② ITソリューション事業</li> <li>③ ネットワークサービス事業</li> </ul>
従業員数	2,075名（連結 2020年3月末現在）
本社	東京都稲城市百村1625-2
事業所	東京本社，日本橋，新宿，川崎，さいたま，浜松，刈谷，関西，熊本



## KSKグループ会社

株式会社KSKテクノサポート	(資本金50百万円)	東京都稲城市	ネットワークサービス事業
株式会社KSKデータ	(資本金50百万円)	埼玉県さいたま市	ITソリューション事業等
株式会社KSK九州	(資本金20百万円)	熊本県熊本市	ITソリューション事業

# 2 業績の概要

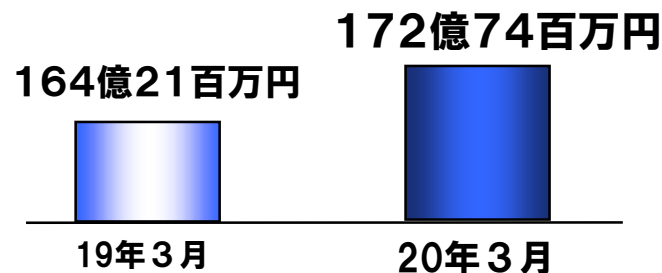
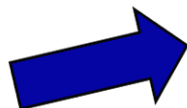
## 2-01

# 前期との比較（2020年3月期連結業績）

前期比で増収・増益、売上高・営業利益・経常利益ともに過去最高を更新しました。

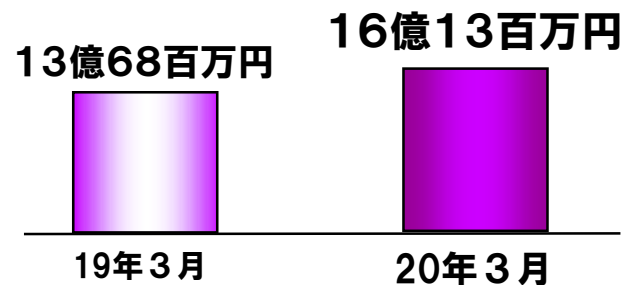
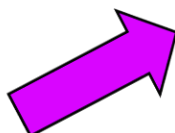
**売上高**

**5.2% : 増**



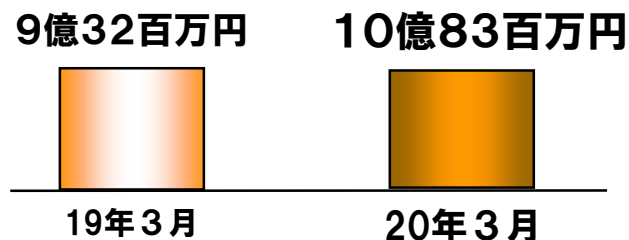
**営業利益**

**17.9% : 増**



**当期純利益**

**16.2% : 増**



## 2-02

## 過去の業績推移(売上・売上伸び率)

2012年3月期以降、8期連続増収となりました。



## 2-03

## 過去の業績推移(営業利益・売上営業利益率)

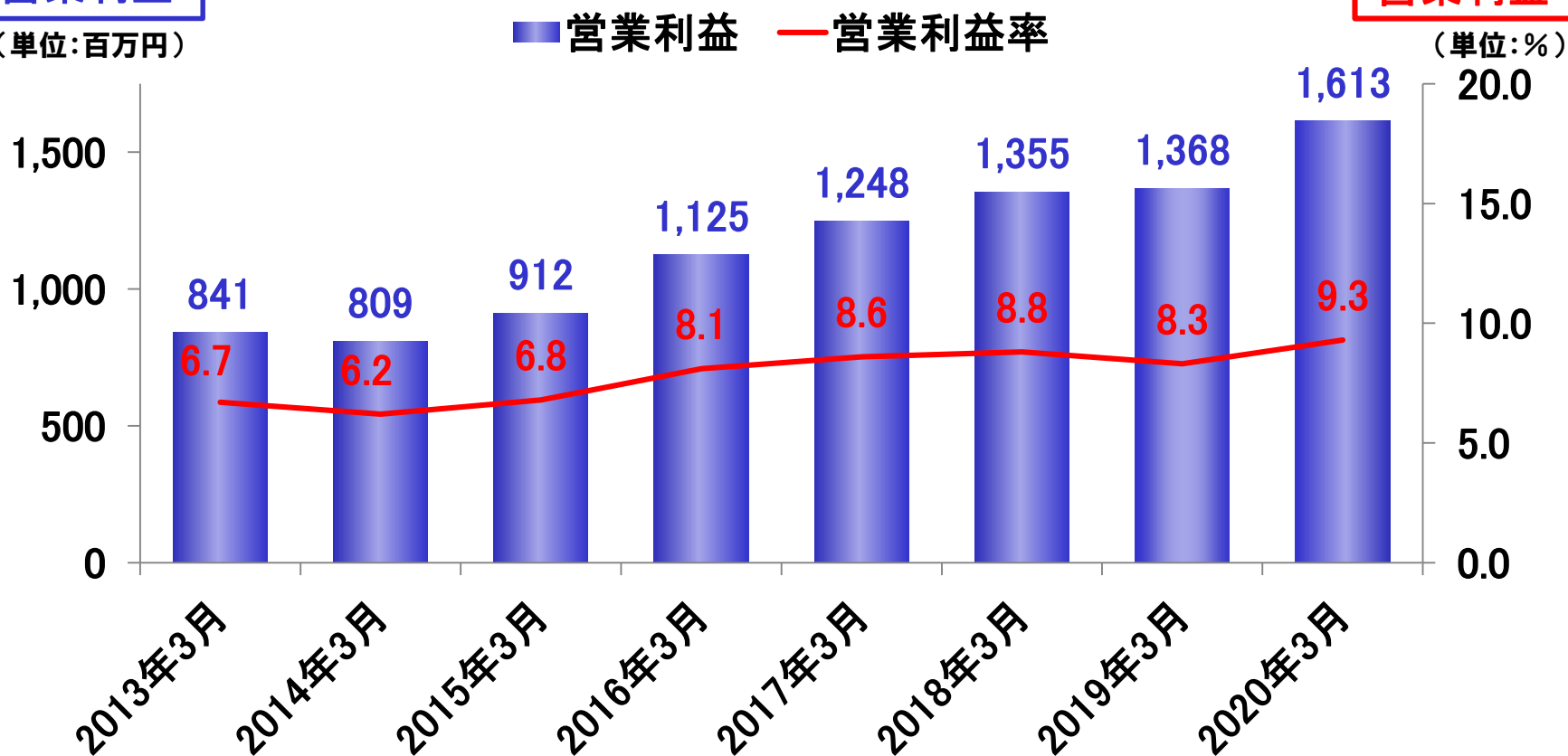
2014年3月期以降、6期連続増益となりました。  
売上高営業利益率は2016年3月期以降、8%以上を確保しております。

## 営業利益

(単位:百万円)

## 営業利益率

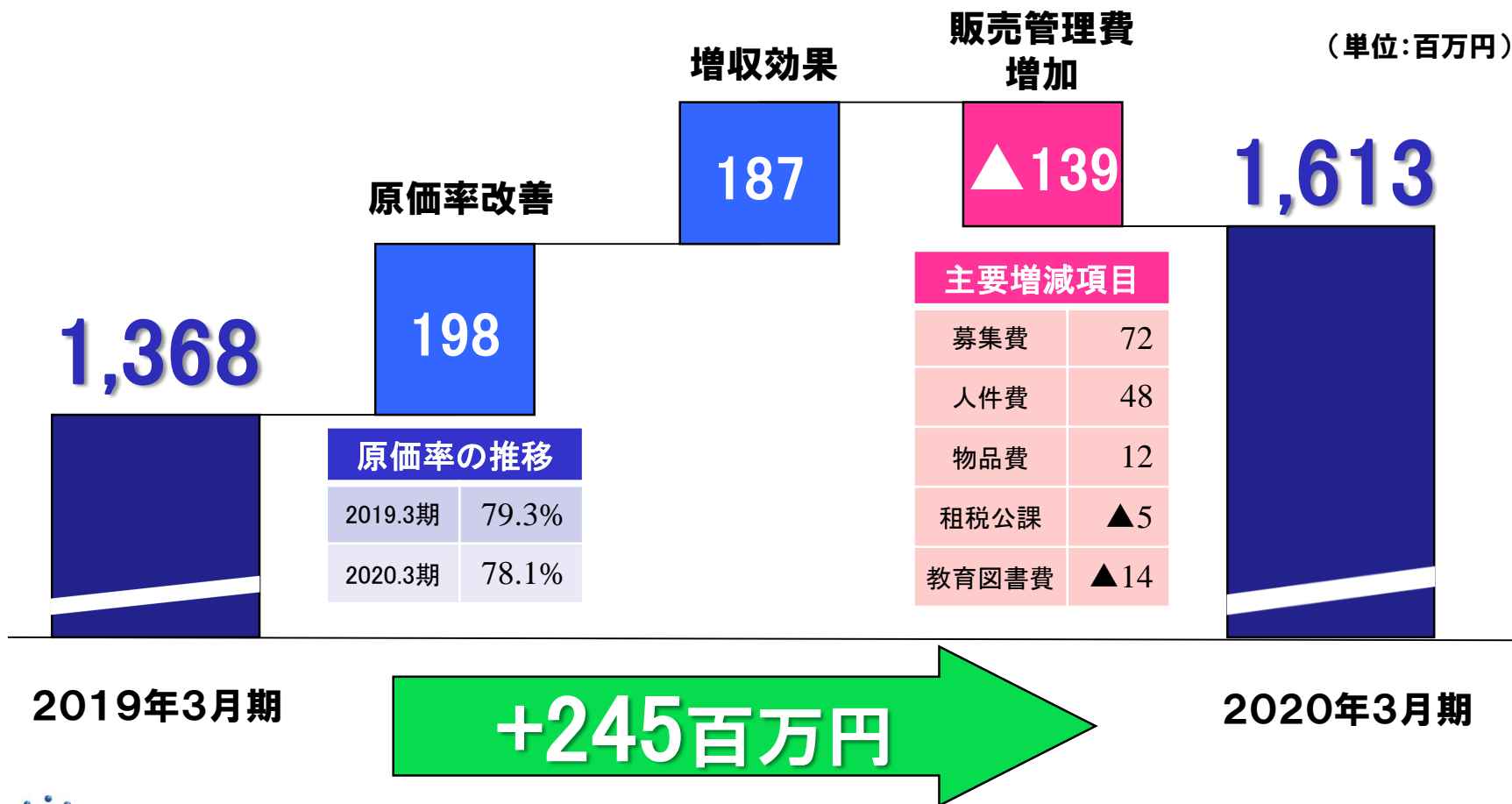
(単位:%)





## 2-04 営業利益の増減要因(前期比)

原価率は前期比1.2ポイント改善。販売管理費の増加は募集費、人員増に伴う人件費増など先行投資が中心となっております。



## 2-05

## 四半期別売上高営業利益率推移

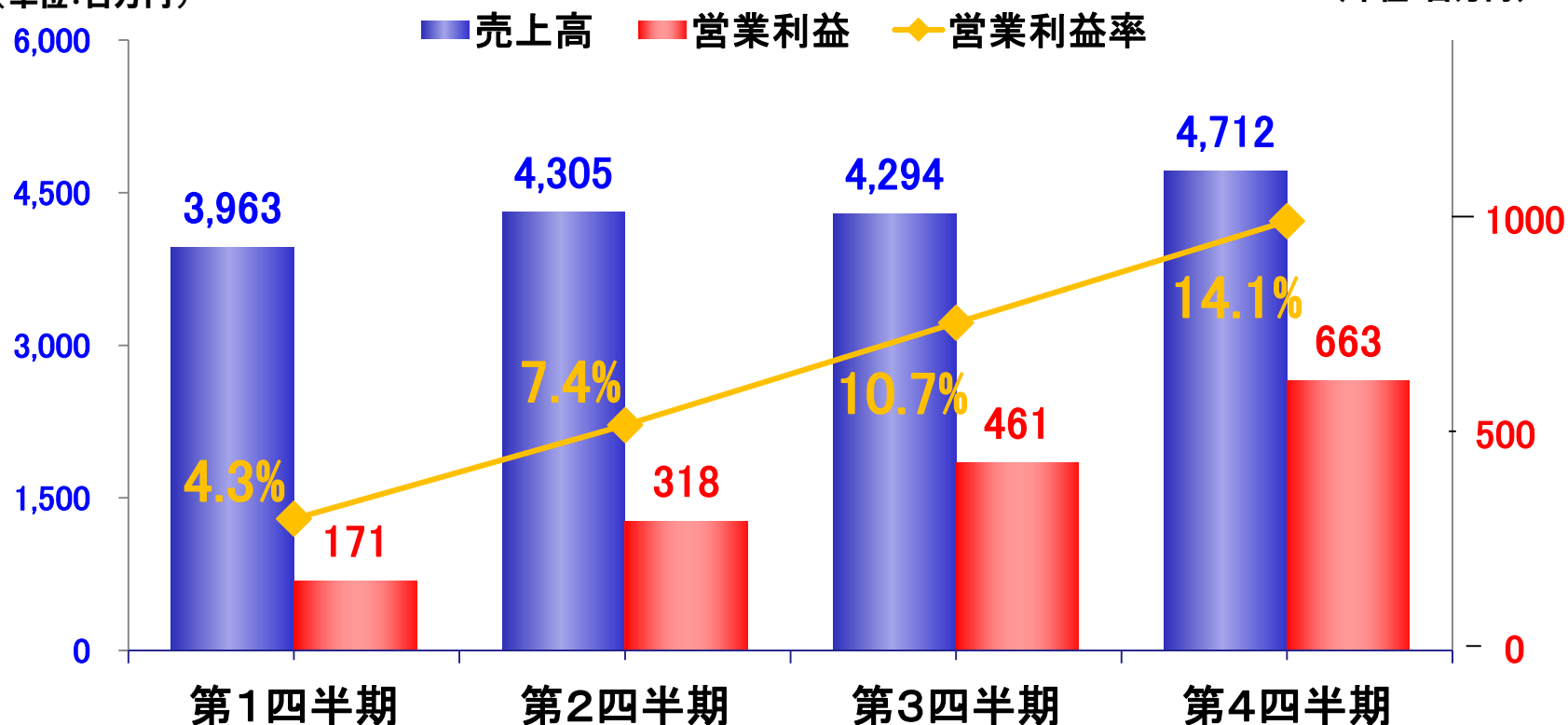
第1・第2四半期は新卒・新入社員の育成期間につき、稼働率・利益率が相対的に低下基調となります。

売上

(単位:百万円)

利益

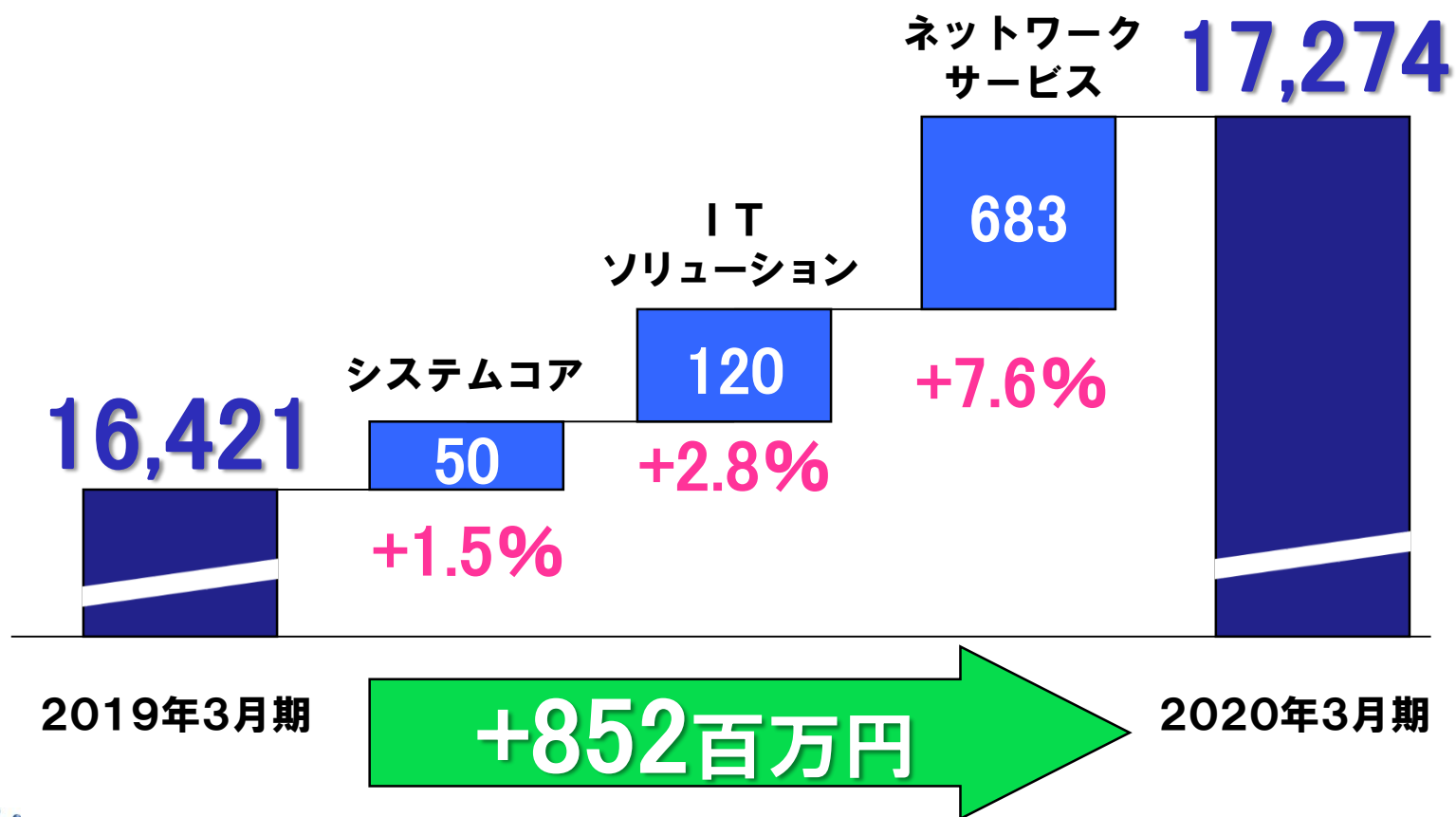
(単位:百万円)



## 2-06 セグメント別売上増減(前期比)

すべてのセグメントにおいて前期比増収となりました。

(単位:百万円)

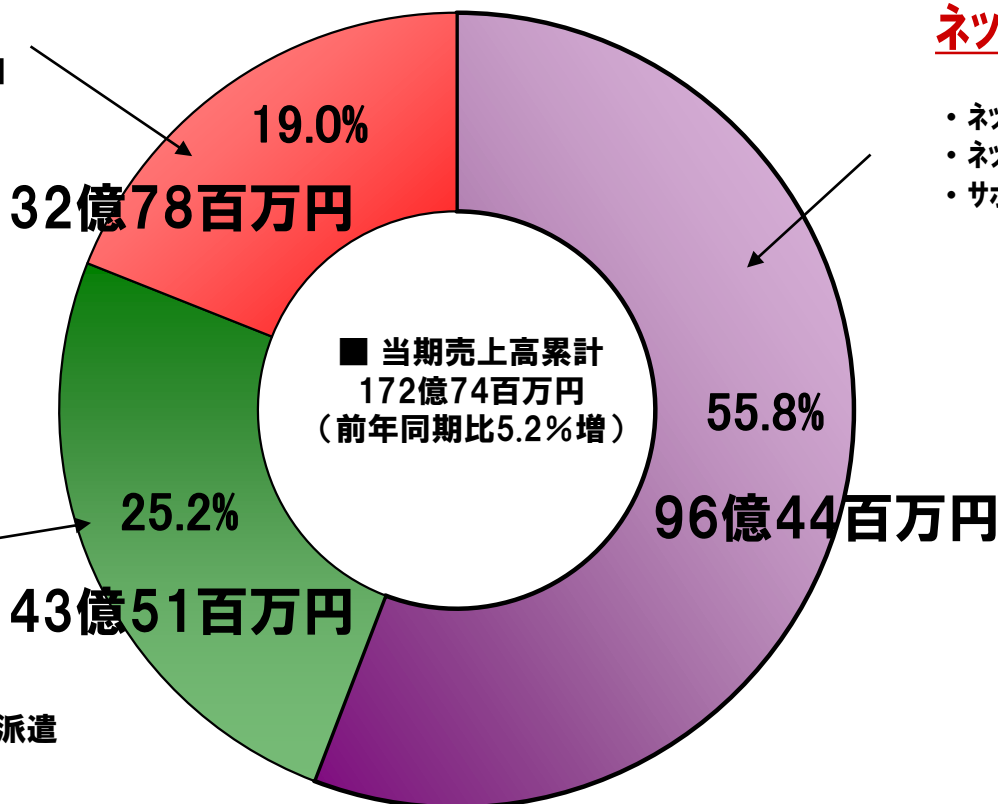


## 2-07 セグメント別構成比(売上)

ネットワークサービス事業が、売上構成比では55.8%(前期は54.6%)とシェアを拡大しております。

### システムコア

- ・半導体設計、システムLSI
- ・組込ソフトウェア開発
- ・システム設計、装置設計



### ネットワークサービス

- ・ネットワークシステム構築
- ・ネットワーク保守
- ・サポートセンター

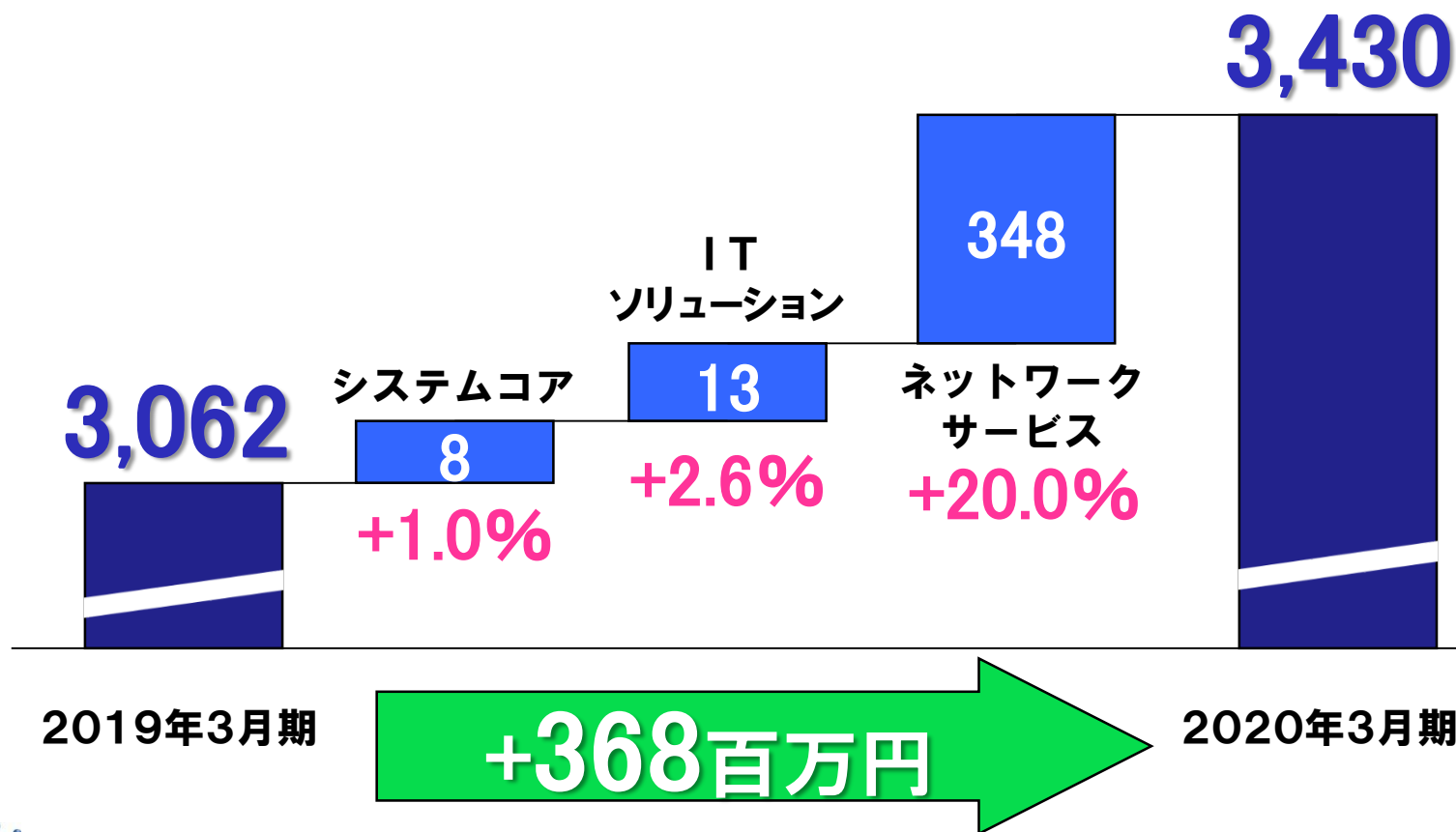
### ITソリューション

- ・APソフト開発・保守
- ・携帯用Web関連ツールソフト
- ・自社PKGソフト
- ・健康保険組合、自治体への派遣
- ・データエントリー

## 2-08 セグメント別利益増減(前期比)

すべてのセグメントにおいて前期比増益となりました。  
ネットワークサービス事業は前期比+20%の増益となりました。

(単位:百万円)



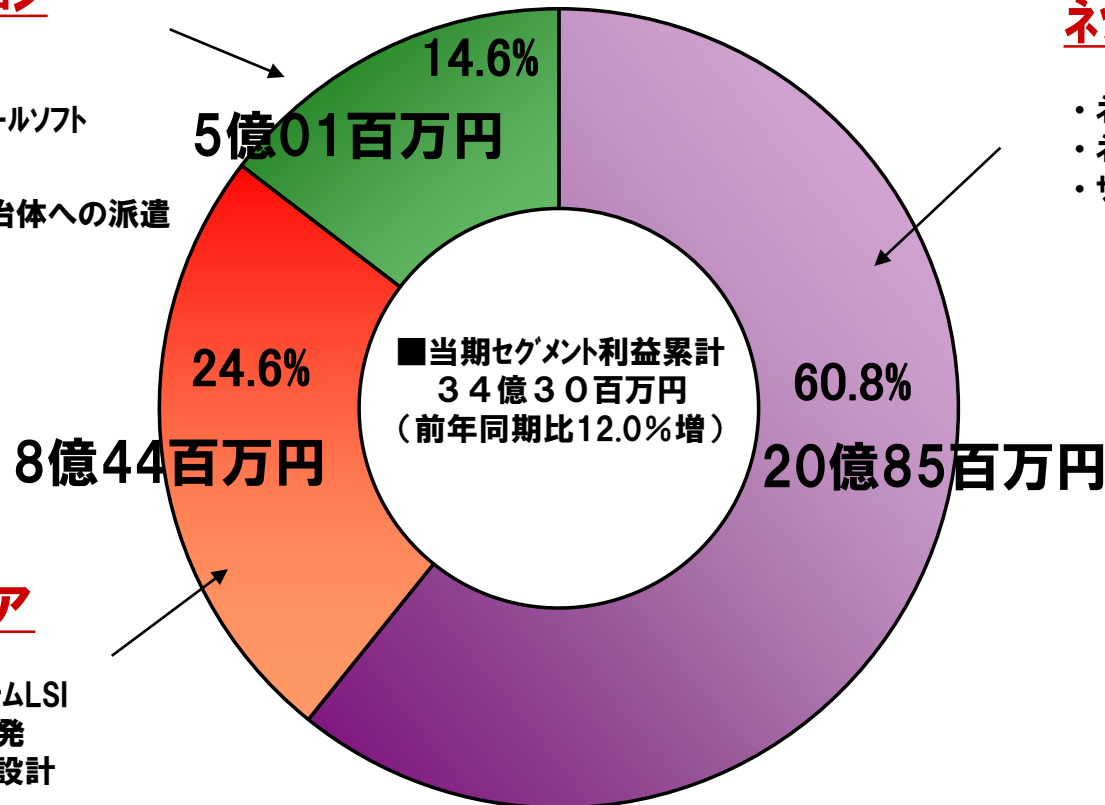
ネットワークサービス事業が利益構成比でも60.8%(前期は56.8%)とシェアを拡大しております。

## ITソリューション

- APソフト開発・保守
- 携帯用Web関連ツールソフト
- 自社PKGソフト
- 健康保険組合、自治体への派遣
- データエンター

## ネットワークサービス

- ネットワークシステム構築
- ネットワーク保守
- サポートセンター



## システムコア

- 半導体設計、システムLSI
- 組込みソフトウェア開発
- システム設計、装置設計

## 2-10 セグメント別売上／利益一覧表

セグメント利益率は全体で前期比1.2ポイント改善しました。

(単位:百万円)

	売上高		利益			
	売上高	前年同期増減比	セグメント利益	前年同期増減比	売上高比利益率	前年同期増減
システムコア	3,278	+1.5%	844	+1.0%	25.7%	-0.2P
ITソリューション	4,351	+2.8%	501	+2.6%	11.5%	0.0P
NWサービス	9,644	+7.6%	2,085	+20.0%	21.6%	2.2P
合計	17,274	+5.2%	3,430	+12.0%	19.9%	1.2P

## 2-11 セグメント別従業員数

従業員数は前期比120人増加し、2,000人超となりました。

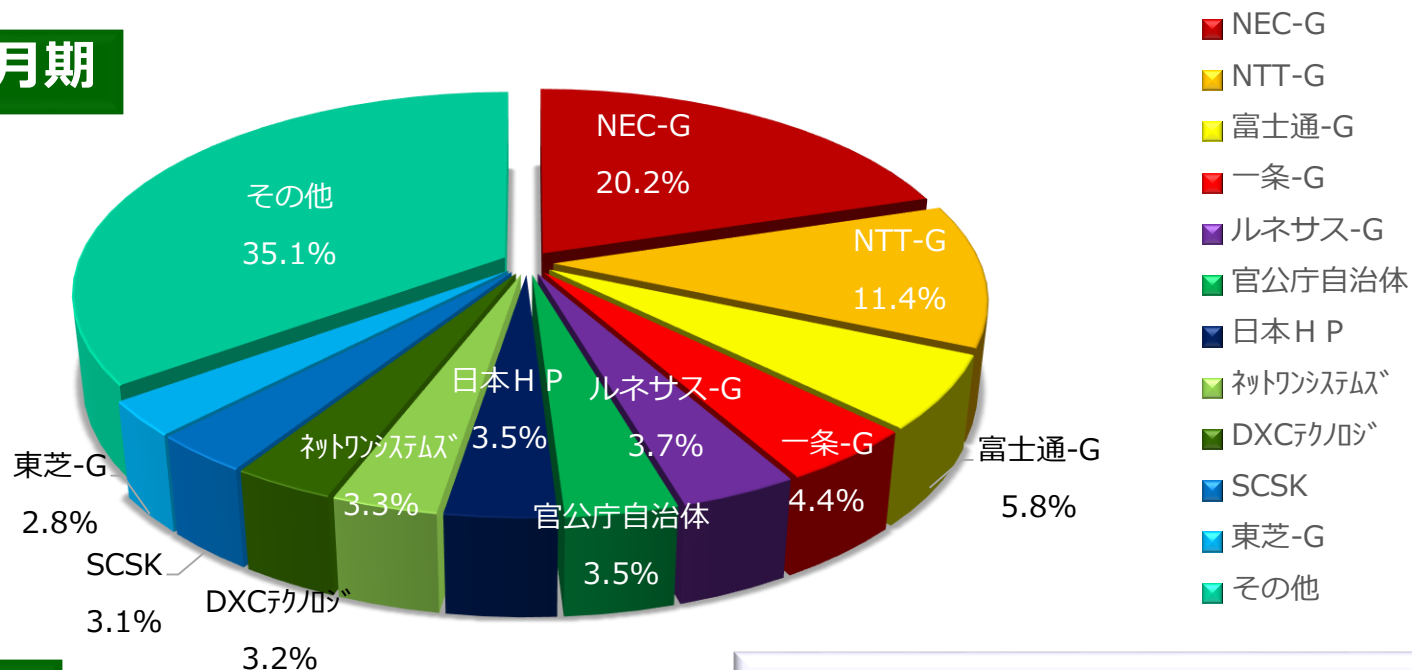
(単位:人)

	2019年3月期		2020年3月期		増 減	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	増減比
システムコア	307	16%	326	16%	19	6.2%
ITソリューション	403	21%	420	20%	17	4.2%
NWサービス	1,154	59%	1,234	59%	80	6.9%
その他	91	4%	95	5%	4	4.3%
合 計	1,955	100%	2,075	100%	120	6.1%

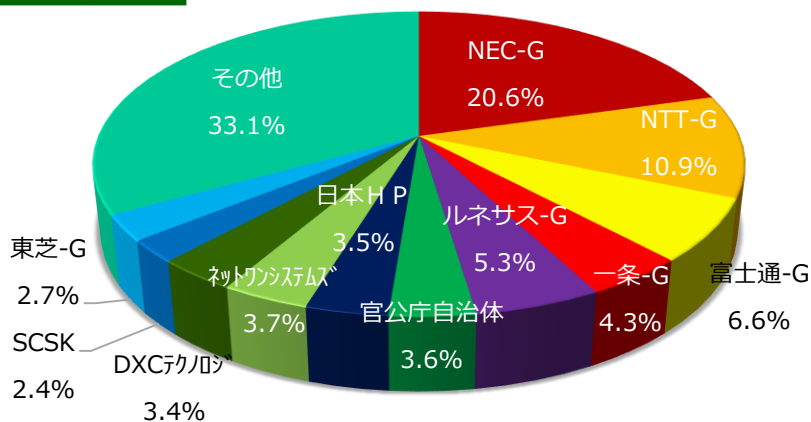


## 2-12 お客様別売上構成比(連結)

2020年3月期



2019年3月期



### お客様別売上構成の変化

#### 【シェア拡大】

- NTTグループ 様
- 一条工務店グループ 様
- SCSK 様
- その他・・・お客様の分散化による

#### 【シェア縮小】

- ルネサスグループ 様
- ネットワンシステムズ 様



### ● システムコア事業（増収・増益）

- 組み込みソフト開発は、従来の事業から成長分野へとシフト中。
- 半導体市況の悪化により、半導体設計事業は稼働率が低下し収益率に影響。
- 業務の一極集中によるリスク低減の観点から、業務の多様化・分散化を継続して実施。

### ● ITソリューション事業（増収・増益）

- 携帯端末の検証ビジネスが好調。
- 自社開発パッケージソフトウェアは、販売と並行して改良と開発体制の整備を実施。
- 子会社が行っている介護事業で、要員採用難等から利用者数が計画未達のため、設備の減損を実施。

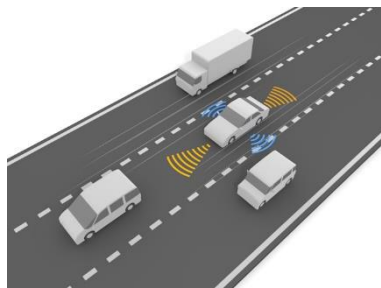
### ● ネットワークサービス事業（増収・増益）

- 新卒者や中途採用者を積極的に採用する人材投資を継続するとともに、早期戦力化で業績に寄与。
- 技術者不足による受注機会損失を無くし、拡大する需要に対応し成長を続けている。
- 将来有望な分野や好条件の案件へのローテーションなどにより、収益性も改善。

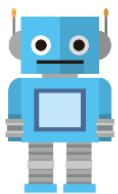
## システムコア事業

車載分野: 電子化→CASEへ

- ・車載用マイコン開発
- ・自動運転支援などのソフトウェア開発



ロボットの組み込みSW



PC向け半導体

- ・メモリデバイス
- ・メモリボード

AI/IoT時代の多分野の開発に関与  
車載分野の変化に対応

通信機器

- ・部品の機構設計
- ・搭載される基板の回路設計



インテリジェント家電  
・汎用マイコン開発

スマートフォン向け

- ・CMOSイメージセンサー開発
- ・各種ファームウェア/アプリケーションソフトウェア開発



## ITソリューション事業

## ●パッケージソフトウェア開発

- ・住宅建設会社向けの総合管理システム
- ・ウェブサイト変換ソリューション
- ・モバイルコンテンツ変換



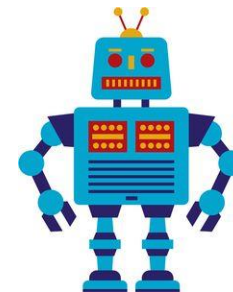
## ●各種システム開発

- ・製造業生産管理システム
- ・基幹系システム



## ●AI

- ・製造業向けAIソリューション開発
- ・AI-OCR技術開発



## ●各種支援サービス

- ・SE開発支援
- ・モバイル実機検証サービス



## ●BPO関連

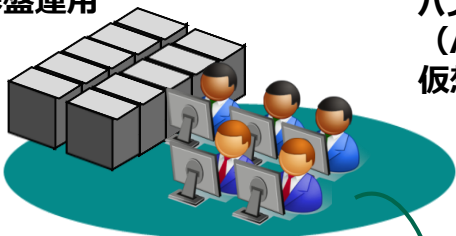
- ・AI-OCRデータエントリー業務
- ・健保組合向け人材派遣

ネットワークサービス事業

DX社会のニーズに応えます！  
(インフラ設計・構築、運用すべてに対応)

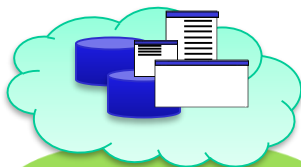
データセンター

データセンタマネジメント  
クラウド基盤運用  
障害監視



クラウドサービス

パブリック/ハイブリッドクラウド運用  
(AWS、Azureなど)  
仮想ネットワーク構築



ユーザ企業

オンサイト基盤運用支援  
仮想化基盤構築  
テレワーク環境導入



キャリア系ベンダ

ネットワーク構築・運用支援  
全国/ローカル5G展開支援



Internet

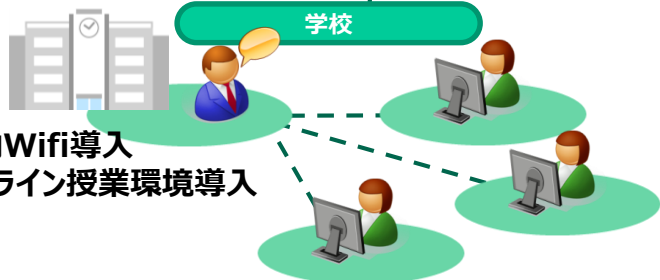
病院

電子カルテ運用支援  
オンライン診療環境導入



学校

校内Wifi導入  
オンライン授業環境導入



ソリューションベンダ

インフラ基盤構築  
基盤運用支援  
障害監視



セキュリティベンダ

CSIRT運用支援  
脆弱性診断 SOC運用

# 3

# 中期経営計画「TRUST50」



## 1. 究極の品質

KSK品質を確立し、品質を強みにする企業集団となる

 施策事例：「かがやきプロジェクト」(p.26)

## 2. 考える現場

あらゆる変化に対応し、更なる発展へ全社員が考える集団となる

 施策事例：「品質OK?」「ヨクスル」「サクサク提案」(p.27)

## 3. プレミアムサービス

現場の強みを最大限に活かし、競合他社を圧倒するプレミアムサービスを提供する

 施策事例：「CSの基本方針」(p.28)

社員一人ひとりが自らの業務遂行力とKSKで働くことに誇りを持ち、  
最善の顧客サービス提供を通し真のパートナーとして信頼される、  
そんな会社でありたい。

KSKグループは量から質への転換を図るため、「エンゲージメント（企業風土）」「人材育成（仕組み）」「CS向上（戦略）」を経営の基軸と位置づけ、エクセレントカンパニーを目指し将来にわたり継続的成長を実現してまいります。

## 競争戦略





2003年にチーム制を導入して以降、KSK成長の基盤となる制度です。お客様先に常駐する社員が多い特性から、社員の孤立化を回避し、業務リスクを排除する効果も発揮されています。

## チーム制の理念

- ◆現場を強くすることでKSKグループの**競争力**を高めます(会社)
- ◆ビジネスの実践を通して社員一人ひとりが**自己実現**を図ります(従業員)

## チームの機能

### 1. 協働の場

プロジェクトチーム、生産性の追求

・仕事の成果を出す

### 2. 成長の場

仕事と交流を通じた自己研鑽

・刺激し合い、切磋琢磨する

### 3. 帰属の場

自分の居場所としてのコミュニティ

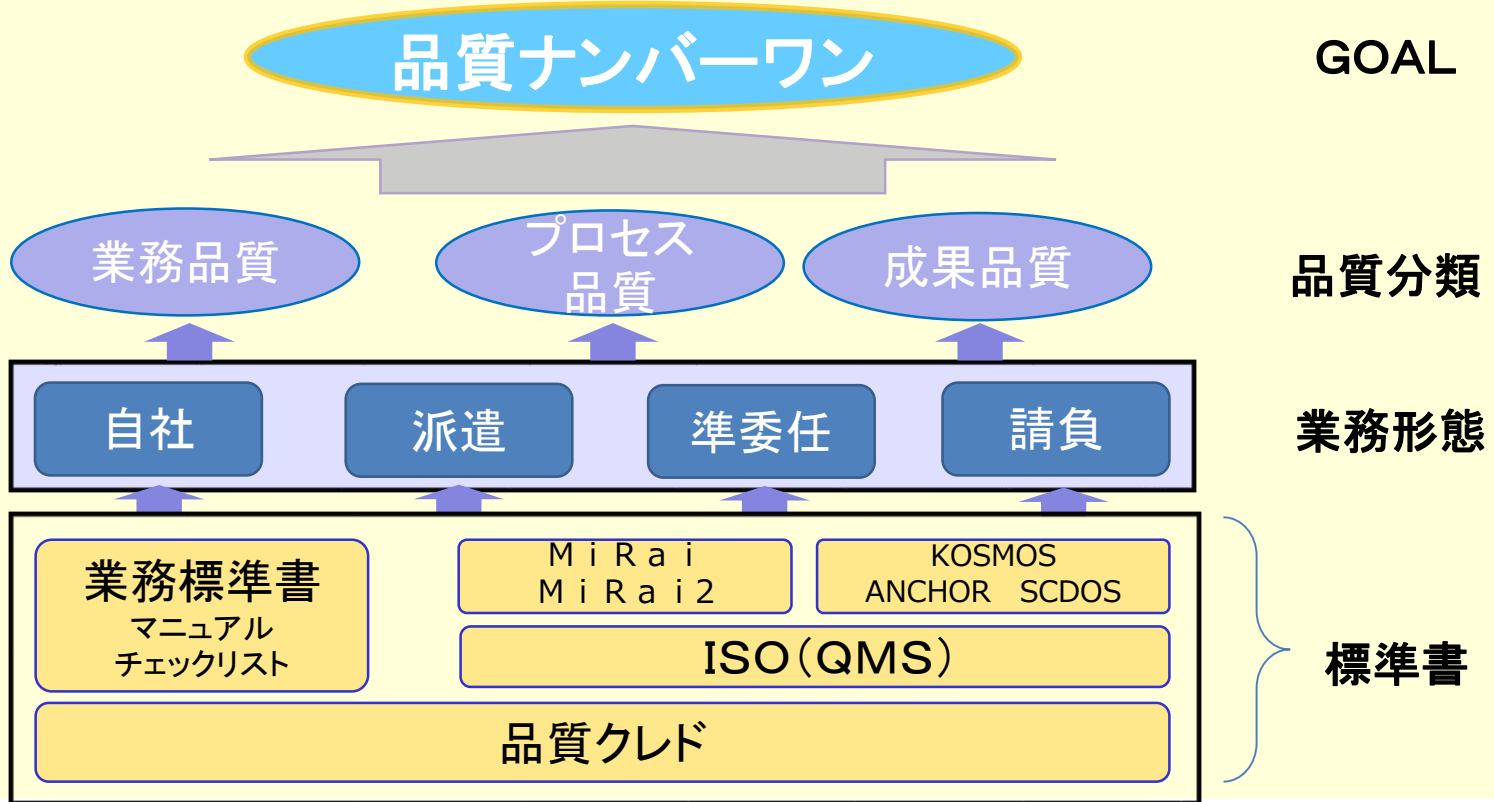
・自分の存在を認められる  
・自分の理解者がいる  
・本音を出せる  
・安らぎを感じる

# 3-04

## 究極の品質 ～かがやきプロジェクト

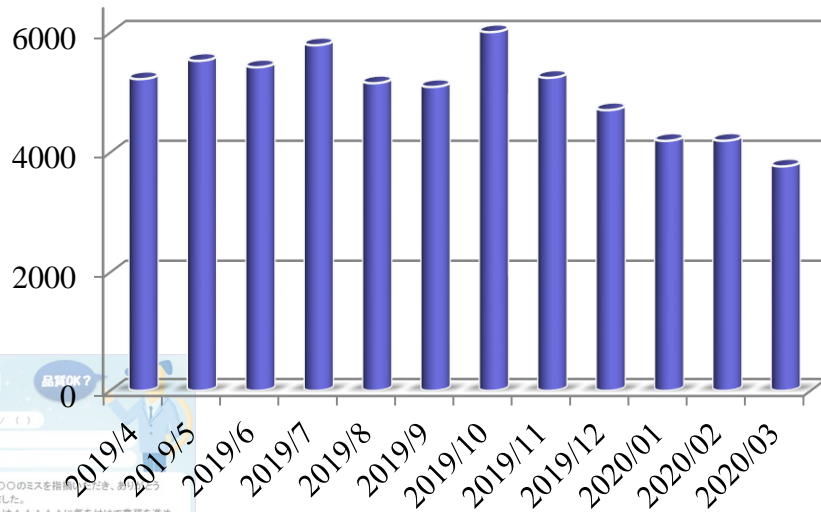
2017年4月に「品質ナンバーワン」をVISIONに「かがやきプロジェクト」を立ち上げ、「人質向上」「標準化」「自動化」の3つの取り組みを行い、品質を高めております。

### 「かがやきプロジェクト」の全体図



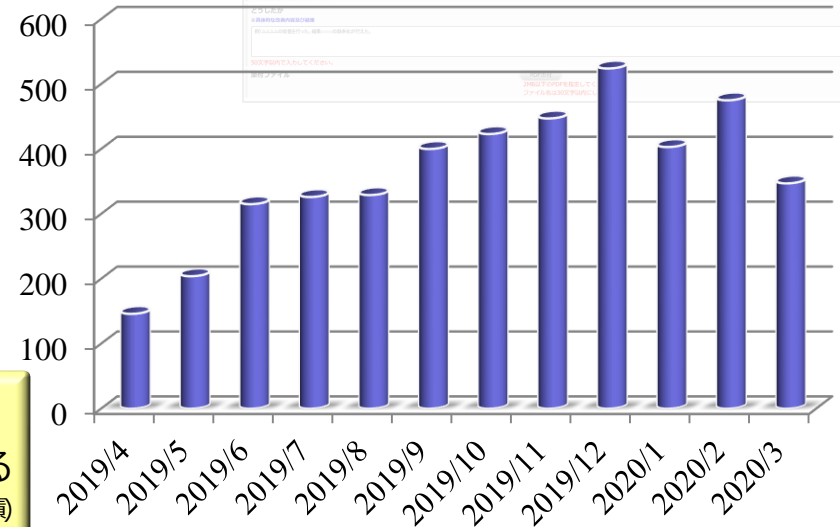
更なる発展へ全社員が考える集団となる「考える現場」を浸透させるために、指摘しあえる風土の定着に向けた取り組みとして「品質OK?カード」や、現場での業務改善・工夫などの気づきを提案制度「ヨクスル」などを実施しています。

「品質OK?」カード受信枚数の推移



「品質OK?」は月平均5,000枚受信  
 「ヨクスル」は月平均362件の提案があげられている  
 (2019年度実績)

「ヨクスル」提案件数の推移

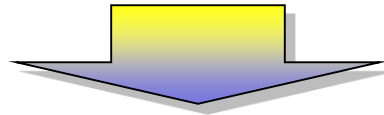


K S Kグループでは、CS向上の基本方針である「(お客様の)期待以上」「(K S Kの)役割以上」「(K S Kの)報酬以上」をスローガンに掲げ、CS活動を展開しております。

以下の要素を三位一体で提供する



- **技術**(QCD)
- **信頼**(安全・安心・誠実)
- **快適**(ホスピタリティ)



CS向上の基本方針

- **期待**以上
- **役割**以上
- **報酬**以上

お客様に  
感謝と  
感動を！

本社をはじめ、各拠点のある地元自治体と協働で清掃活動等のエコ活動に参加し、地域環境の整備と良好な地域コミュニティの形成に貢献しております。

## Team KSK ECO CLUB



社内ボランティア組織のエコ活動をKSKが物心両面で支援



グループ社員同士が、絆や誇りを持てる企業風土を共有するために、社会貢献と環境保護をテーマにした活動

社会への無償の貢献実感が自らの存在意義の確認を経て誇りへとつながる

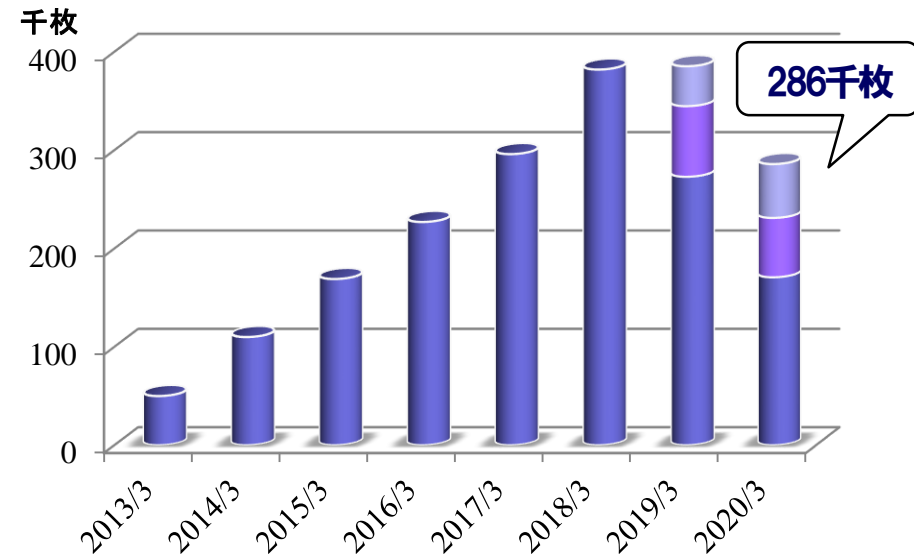
エンゲージメントを高める明るい職場づくりの施策として  
**“ありがとうの気持ち”** を伝える  
**《スマイルカード》** を全社展開しております。

『ありがとう』  
 の言葉の連鎖が  
 結束力を強める

## 讚え合う良い風土

- 😊 お互いを褒め合うことでお互いの良いところを伸ばし合う
- 😊 相手への関心が良きチームワークへとつながる
- 😊 感謝し合うことの積み重ねが相手を思いやる気持ち、助け合う職場をつくる

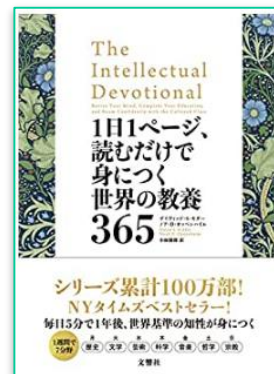
Smile Card発行枚数の推移



チームのメンバーが自分たちで選定した本を読み、その感想や意見を述べ合うことで、チームメンバーの相互理解を深める読書会を実施しています。

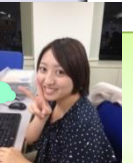
■ 2019年度は 3,900冊を配付、1,531名が読書会に参加

その人が読んでいる本を知るとは、**その人を知ること**である



K S KグループではI T企業では珍しく5 S活動を積極的に行っており、外部のコンサルタントからも高い評価をいただいております。

5Sをやって  
心がきれいに  
なりました



5S活動は、『徹底した**ムダの排除**であり、  
問題点を顕在化して問題解決する**体質づくり**』

～単なる美化運動でも掃除だけでもない～⇒ 5Sの真髄は「**見える化**」

### 外部コンサルタントの診断を年2回受診



80点「5S GOLDクラブ」  
・KSK拠点:全て(24チーム)  
・お客様フロア:7チーム



87点「5S PLATINUMクラブ」  
・KSK拠点:13チーム



90点「5S DIAMONDクラブ」  
・認定に向け、現在挑戦中

お客様先で10チームが5 S活動を展開中  
(**オンサイト5 S活動**)



## 3-11 経営の基軸：人材育成 KSKカレッジ

人材の確保と育成は経営の最優先課題と捉え、技術研修に加え、人間力研修にも力を入れ、技術力と人間力、バランスの取れた人材の育成を行っております。

### 【自律できる技術者の育成】

人間力研修	技術研修
新入社員向け	システム・ネットワーク分野
若手社員向け	ソフトウェア分野
中堅社員向け	組込みソフトウェア分野
管理者向け	ハードウェア分野

年間カリキュラム(120種)

### 【教育機関の設置】

専任講師：9名  
研修設備：504席、12教室、  
研修寮あり



## 3-12 経営の基軸:人材育成 資格取得者数

主な資格の資格取得者数は以下の通り。  
社員1人あたりの平均資格保有数は3.5個となっております。

資格	取得人数	増加数
PMP	196名	55名
LPICレベル3	149名	11名
CCNP	119名	5名
ORACLE MASTER Gold	50名	3名
応用情報技術者	68名	6名
VMware認定プロフェッショナル	92名	80名
CCNA	1,112名	153名
ITILファンデーション	788名	67名
G検定(AI)	74名	21名

**平均資格保有数 3.5個／人**

(2020/3/31時点)

## VOC【Voice Of Customer】

毎年1回、お客様に27項目におよぶアンケートを実施。回答いただいた内容はしっかりフォローしCS向上につなげております。

## 目的

お客様の評価(声)に対する改善活動を行い、お客様の不満点を解決し、業績向上につなげる。

## 方法

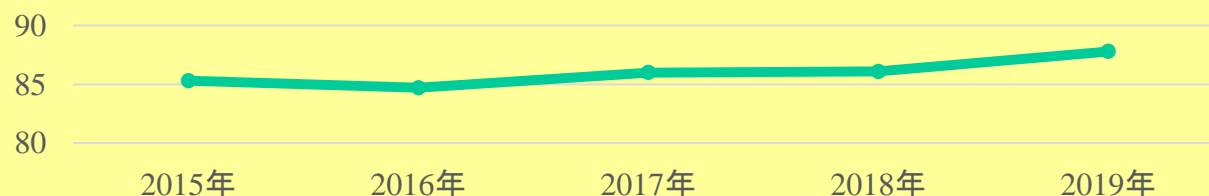
- 現場が任意で対象先を選定する
- 定点調査(毎年同時期、原則同じ質問)

## 項目

- 管理者・営業対応
- 技術力
- トラブル対応等
- 人間力
- セキュリティ
- マナー
- 合計27項目



## 調査結果推移



# 3-14

## 経営の基軸:CS向上 CSI研修

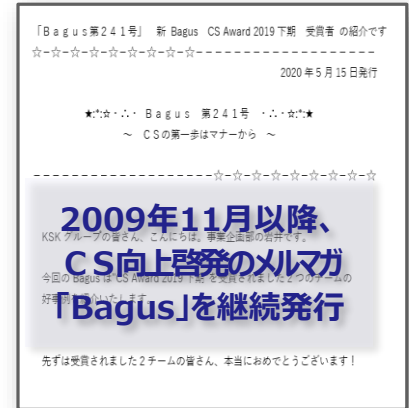
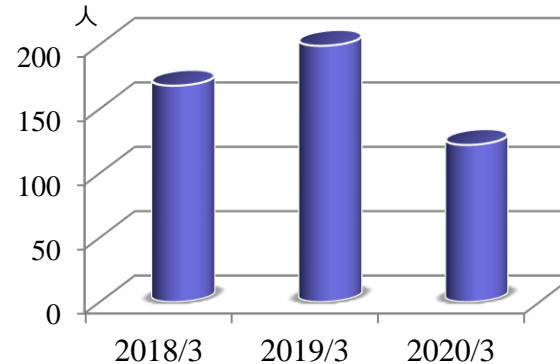
CSI【Customer Satisfaction Institute】

CS向上の実効性を高めるため、入社2~4年目の全社員を対象にCSI研修を実施しております。

### 研修カリキュラム

- CSの重要性を理解させる
- テーマについてグループディスカッション
- 検討結果をチーム別に発表
- CS向上のための行動計画作成

研修受講者数の推移



### 階層別研修

2019年度からは新入社員向け・中堅社員向け研修を加え、階層別研修として、さらに充実を図っております。

	顧客満足入門セミナー	中堅社員セミナー
対象者	1.新入社員 2.中途入社(未経験・第二新卒)	管理職・中堅社員
概要	未経験入社社員に対して実施するCS概念の基礎教育	CSを構成する当社ビジネスの要素を考えて議論する場

K S Kグループの長期的、継続的な成長を実現するためには、その主体である従業員一人ひとりの健康が不可欠であると考え、2014年10月に「健康経営宣言」を掲げ「心・技・体」三位一体の人づくりに取り組んでおります。

## 健康経営の主な取り組み

1

### エンゲージメント重視の経営

上司や仲間と支え合う心の「絆」の形成

4

### 定期健康診断の受診

定期健康診断受診率100%を継続

2

### 全社禁煙宣言

2015年11月に「喫煙者ゼロ」を達成

5

### エンジェル アシスト

健診結果の有所見者100%フォロー活動

3

### わくわく健康プラン

社員一人ひとりの健康促進プログラムの展開  
(参加率75% ※2020年3月現在)

6

### 長時間勤務撲滅

長時間勤務モニタリング制度による事前チェック

## 3-16 健康経営:「健康経営銘柄」選定

### 健康経営

# 「健康経営銘柄」に選定

2020年2月、経済産業省と東京証券取引所が共同で、上場会社の中から「健康経営」に優れた企業を選出する「健康経営銘柄」に2年連続で選定されました。



## 2. 「健康経営銘柄2020」選定企業（30業種40銘柄、業種順）

業種	銘柄コード	企業名	選定回数
情報・通信業	4689	Zホールディングス株式会社	2回目
	9687	株式会社KSK	2回目
	9719	SCSK株式会社	6回目

出典：経済産業省ウェブサイトより

あわせて、経済産業省と日本健康会議が共同で選出する「健康経営優良法人（ホワイト500）」にも4年連続で認定されました。

## 第8回

# 「健康寿命をのばそう!アワード」において 企業部門で最高位の**厚生労働大臣優秀賞**を受賞



2019年11月、厚生労働省が推進する「スマート・ライフ・プロジェクト」により実施された「第8回 健康寿命をのばそう!アワード」において、KSKが推進する「わくわく健康プラン」が**企業部門で唯一「厚生労働大臣 優秀賞」を受賞**しました。

## 企業部門

厚生労働大臣 優秀賞



## わくわく健康プラン

受賞者 株式会社KSK (東京都稲城市)

取組アクション



従業員が自分に合わせてテーマを選べる健康活動を推進

## 背景・概要

会社の長期的、継続的な成長の実現のためには、従業員一人ひとりの健康が不可欠であると考え、【生涯にわたる健康づくり】と健康リテラシーの向上を目指し、加えて生活習慣病の予防につなげる「わくわく健康プラン」を展開。

## 「健康寿命をのばそう!アワード」とは

厚生労働省が主導する国民運動「スマート・ライフ・プロジェクト」の一環として、企業、団体、自治体等において同プロジェクトが掲げる4つのテーマ（適度な運動、適切な食生活、禁煙、健診・検診の受診）を中心に、健康増進・生活習慣病予防への貢献に資する優れた啓発活動・取組の奨励・普及を図ることを目的としたものです。

出典：スマート・ライフ・プロジェクトウェブサイトより

KSKグループが経営の基軸とする「チーム制」や「エンゲージメント」、「人材育成」などへの取り組みが、本に紹介されました。

「この働き方改革が  
企業と従業員を変える」  
大和総研経営コンサルティング本部 [編]

- AIやロボット、ITの技術革新等、目まぐるしく変化する環境に対し、人材の育成や活用をどのようにマネジメントするかを考察
- 「働きやすい職場環境づくり」に向けた、「エンゲージメント」「人材育成」など、KSKの各種取り組みが**約50ページ**にわたり取り上げられる





## 「感染予防のための社内向け情報発信と対策の徹底」

- ・感染拡大防止に向け、社内の対策本部を3月4日に設置
- ・毎朝対策本部メンバーとトップとが協議し、最新の情報を共有
- ・感染防止に係る諸施策や関連情報等を日々発信

### 安全な執務環境の整備と維持

- ・毎朝昼晩3回の次亜塩素酸水による清掃の実施
- ・マスク着用、検温義務、飛沫遮蔽シールドの設置
- ・ソーシャルディスタンスを意識した執務スペースの確保
- ・窓開けによる室内常時換気の徹底

### 社員へのケアと情報発信

- ・社内保健師によるメンタルヘルスケアの実施
- ・健康関連テーマでの情報発信を通じて対応や予防策を意識付け

## 「感染リスク低減のための業務運営上の取り組み」

### テレワークへのシフト等 テレワーク、約6割が実施

- ・お客様からの要請や感染防止策としてテレワークを積極的に推進
- ・リモート接続ツール等を活用したテレワーク(在宅勤務)を実施
- ・Web会議ツール等を利用した会議や研修の実施

### 出勤者の感染リスク軽減対策

- ・時差出勤の奨励やシフト勤務の導入

### Webツールを使ったコミュニケーションへのシフト

- ・対面での社内会議や集合研修は原則禁止
- ・お客様先への訪問禁止とお客様の来訪もご遠慮いただく
- ・情報管理ルールを徹底しながらWebツールでコミュニケーション

## 「企業の社会的責任を勘案した協力要請へ対応」

- ・社員の安全に配慮しつつ、社会インフラ維持等の為出勤要請に協力
- ・行政機関からの外出自粛要請等には企業として積極的に協力
- ・新入社員採用活動は応募者やその家族の安全に配慮し一時中止

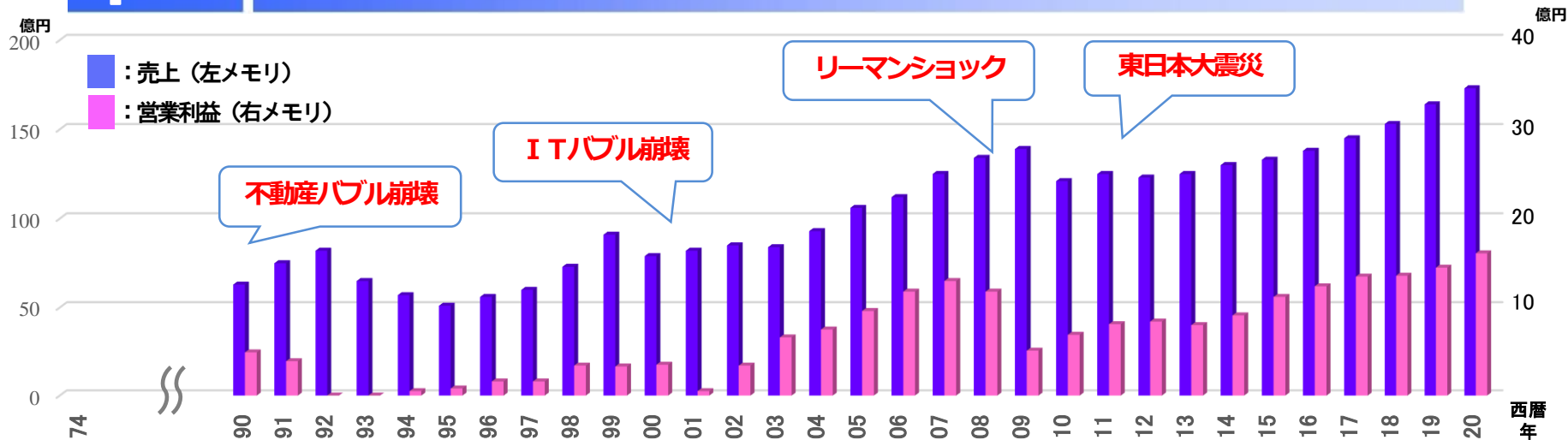
### 今後の対応

政府および行政機関の緊急事態宣言解除後も、政府から示された「新しい生活様式」や経団連の「新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン」等を参考とし、社会情勢等も勘案しながら引き続き対応を検討してまいります。

# 4

## Appendix ~ご参考~

# 4-01 KSKグループ46年の変遷



74 79 84

創業 (サンユウ商事)

本社を西新宿に移転  
国際システムに商号を変更・IT事業へ転換

揺籃期

90

店頭公開

94 本社 (東京技術センター) を稲城市に移転

成長期

99 00

KSKテクノサポート設立  
KSKデータ設立

03 04 05 05

チーム制導入

KSK九州設立  
中計スタート (PLANET30)  
30周年・商号をKSKに変更・シンボルマーク変更

変革期

08 09 11

中計スタート (構想21)  
CS向上への取組み開始  
中計スタート (基軸V40)

14 15

ブランドメッセージ制定  
中計スタート (共創∞)

17 17 19 19

品質向上プロジェクト  
ホワイト500認定  
健康経営銘柄選定

TRUST 50

発展期

## 4-02

## 過去の業績推移

決算年月		2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
売上高	(百万円)	13,859	14,540	15,351	16,421	17,274
経常利益	(百万円)	1,166	1,285	1,389	1,402	1,651
親会社株主に帰属する当期純利益	(百万円)	705	895	941	932	1,083
包括利益	(百万円)	602	1,010	1,040	936	1,079
純資産額	(百万円)	8,909	9,551	10,330	10,842	11,444
総資産額	(百万円)	12,500	13,381	14,311	15,270	15,550
1株当たり純資産額	(円)	1,426.08	1,569.39	1,695.83	1,805.69	1,883.43
1株当たり当期純利益	(円)	113.40	146.00	155.95	155.21	181.48
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	(円)	112.39	144.05	153.15	152.07	177.73
自己資本比率	(%)	70.9	70.8	71.5	70.3	72.8
自己資本利益率	(%)	8.1	9.8	9.5	8.9	9.8
営業活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	890	1,035	966	1,338	1,388
投資活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	△1,267	△356	△479	△1,031	△101
財務活動によるキャッシュ・フロー	(百万円)	△249	△392	△267	△446	△571
現金及び現金同等物の期末残高	(百万円)	3,876	4,163	4,383	4,243	4,960
従業員数	(人)	1,717	1,765	1,854	1,955	2,075

# 4-03

## 過去の業績推移(当期利益・純利益率)

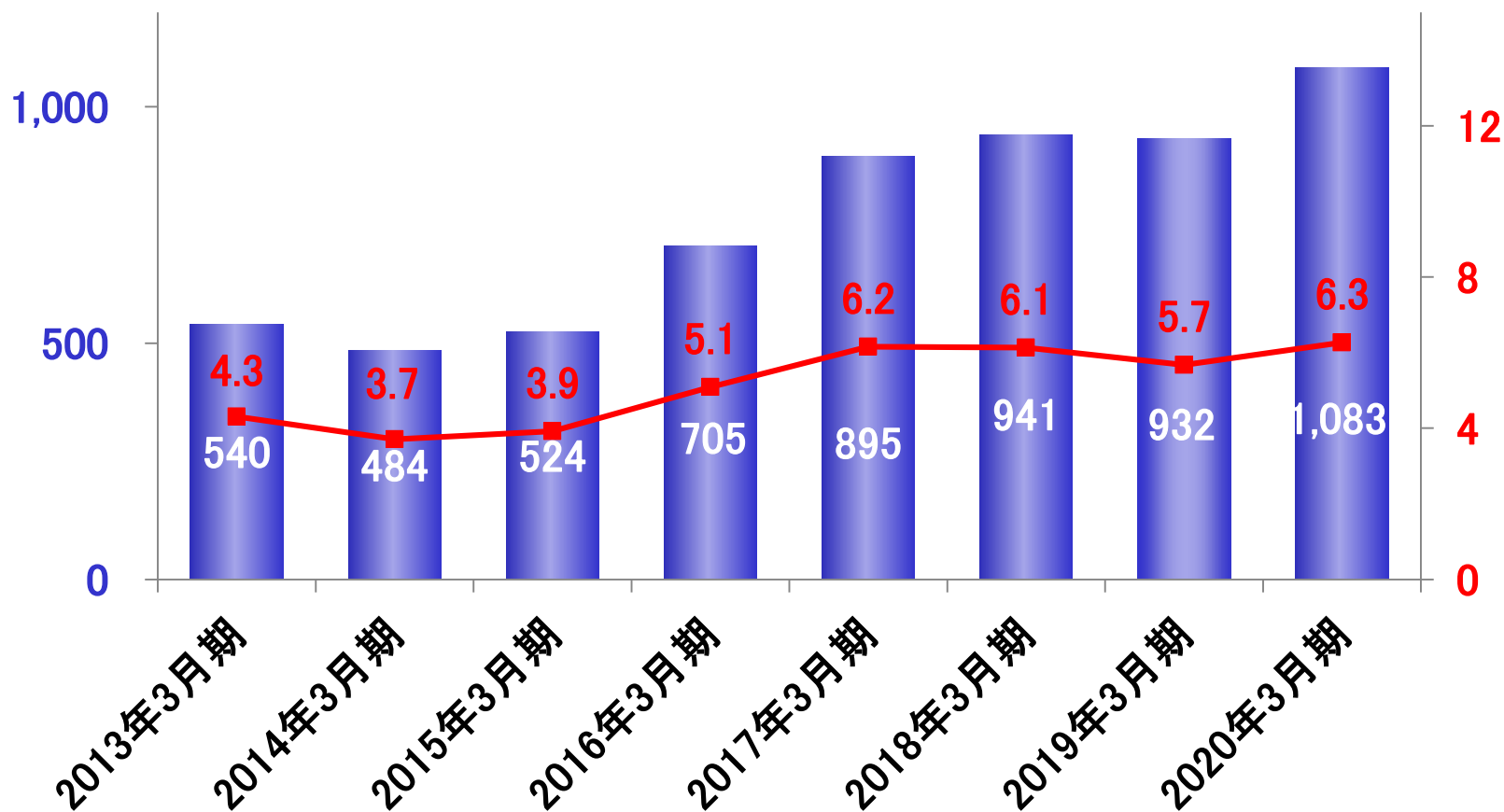
(単位:百万円)

(単位:%)

当期利益

■ 当期利益 ■ 純利益率

純利益率



# 4-04

## 過去の株主還元推移(配当金・配当性向)

(単位:円)

(単位:%)

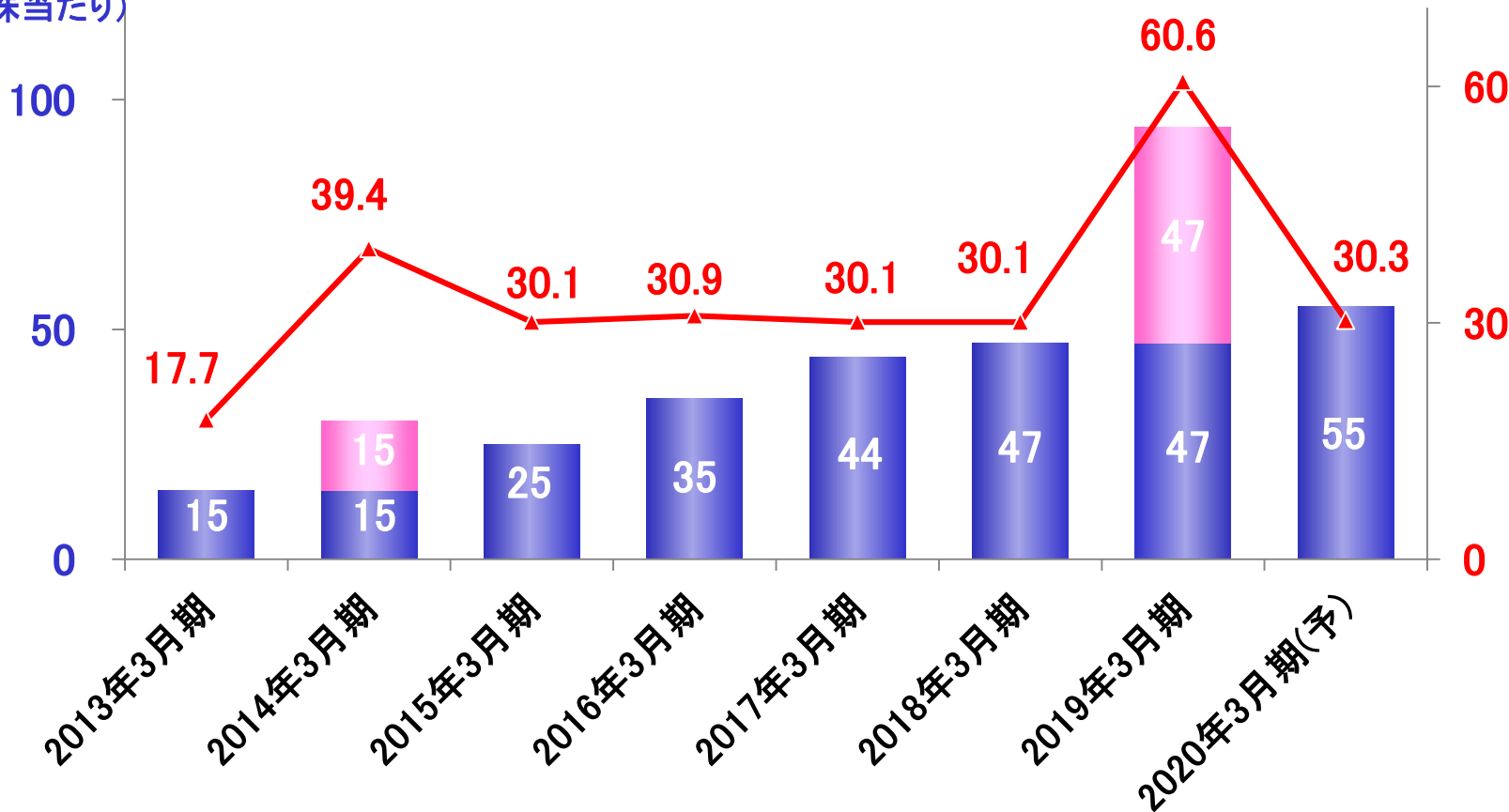
配当額

■ 普通配当 ■ 記念配当 ▲ 配当性向

配当性向

(記念配当を含む)

(1株当たり)





(単位：百万円)

	2020年3月期	2021年3月期 (予想)	対前期比
売上高	17,274		
営業利益	1,613		
経常利益	1,651		
当期純利益	1,083		
配当金	55円		

連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染拡大による影響度合いの算定が困難であることから、開示しておりません。

今後、業績への影響を慎重に見極め、適正かつ合理的な算定が可能となった時点で速やかに開示する予定です。

